

としょかん南アルプス



南アルプス市立図書館通信 No.52 2022年11月11日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>



南アルプス市出身

今津 佑太

J1 サンフレッチェ広島所属 プロサッカー選手

いまづ ゆうた

私の の 覚 悟

私が最近影響を受けた本は『覚悟の磨き方』です。この本は吉田松陰の遺した言葉や文献を元にした格言集のような自己啓発本です。

私の職業はプロサッカー選手です。職業柄、インタビューなどで「覚悟を持って闘います」など、覚悟とはよく使う言葉です。この本に出会った時、覚悟の磨き方とは？ 筆者の考える覚悟とはどういうものだろうか？ と興味を持ち、手に取りました。

「自分はどこからやってきたのか 自分のこの身の、原点は一体どこにあるのか。はるか昔までゆっくりと思いを馳せていくと、突如、感激の心が湧き起こり、『よし、やってやろう』という決意が生まれます。」(234 ページより引用)

この本の中で心に残った言葉の一つです。私は、南アルプス市で生まれ育ち、高校・大学で親元を離れて常にサッカー中心で生きてきた今までの人生を思い返しました。そこにはたくさんの人の愛情や支えがあり、応援がありました。自分一人の人生ではなく、たくさんの出会いや別れがあり、今現在に至ることを再認識しました。

そうすると、不思議な事に心の底から頑張ろうと思えました。今回抜粋した一文から私が考える覚悟とは、自分の人生をどう生きていきたいか、自分のこれからの物語をどういう風に作っていくかという信念だと思いました。大切に思うものや人、今までの出来事を背負いながら、なりたい自分になっていくと強く望むこと。それこそが覚悟なのだと思います。

私自身プロサッカー選手として、活躍して地元である南アルプス市に元気や勇気を届けられる存在になるために、覚悟を持って日々精進していきたいと思っています。もし何か悩んだり、自分をアップデートしたいなど思う方がいたら『覚悟の磨き方』を是非読んでみてください。今回抜粋した部分以外にも素敵な言葉や考え方が載っています。



提供:サンフレッチェ広島

今津佑太選手プロフィール

1995年7月8日生まれ。山梨県南アルプス市出身。甲西トラベッツジュニア→甲西トラベッツ Jr ユースまで山梨でプレーし、高校からは千葉の名門・流通経済大付属柏高へ進学。高校3年次には全国制覇を経験した。流通経済大へ進み大学でも主力として全国制覇を経験した後、2018年にヴァンフォーレ甲府へ加入。3年間でJ2通算65試合出場3得点の結果を残し、2020年よりサンフレッチェ広島でプレーしている。

～今津選手が紹介した本～



『覚悟の磨き方』

超訳吉田松陰 時代のすべての異端児たちへ』
池田 貴将/編訳
サンクチュアリ出版

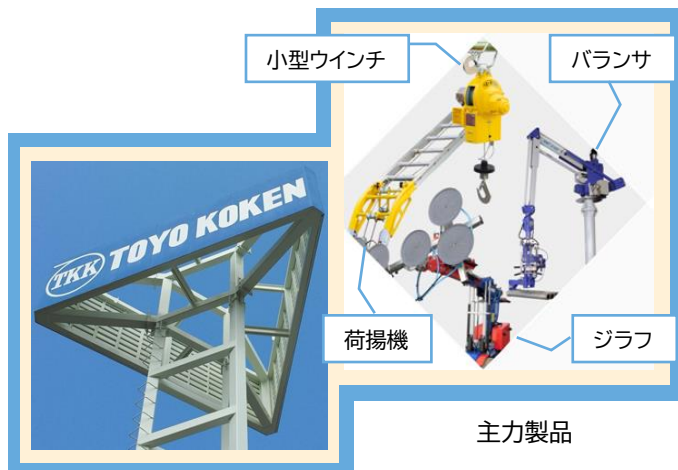
より児童書購入費をご寄付いただきました。

トーヨーコーケン株式会社さまは、長年にわたる市への感謝を表し、「南アルプス市子どもの読書活動推進計画」を支援するため、児童向け書籍等の購入資金を令和3年から継続的に寄付してくださっています。

お仕事紹介

本 社が東京都江東区にあり、南アルプス市宮沢に山梨事業所を置いています。安全で人にやさしい作業環境を創り出すことを不変のテーマとし、「人と機械力」の調和を目指す企業です。

多様な作業現場での安全で効率的な作業環境の実現のために、重量物の移載・搬送を支える「ウインチ」「バランサ」「荷揚機」などの、様々な製品を提供しています。



子どもたちのために

寄付していただいた児童書購入費から、毎年テーマを決めて資料を購入しています。令和3・4年度は子ども向け SDGsに関する本を、あわせて189冊購入しました。

本は中央図書館の特設コーナーで展示し、貸出しています。個人だけでなく、学校にも貸出され多くの子どもが利用しています。調べ学習などに役立つ資料がそろっているのでぜひご覧ください。



令和4年度に購入した SDGsに関する児童書

この本よんでみよう！

「小学生からの SDGs」
深井 宣光/著
KADOKAWA

令和4年度に寄付していただいた児童書購入費で購入した本から、1冊紹介します。



この本は子どもにもわかりやすい言葉で、SDGsの17の目標を解説しています。たとえば「日本の貧困の割合は7人に1人」など数字を使用し具体的に書かれているため、よりわかりやすく身近に感じられます。



トーヨーコーケン(株)の親会社であるトーヨーカネツ(株)マスコットの「タンくん(上)・ブツリユーくん(左)」と図書館マスコット「ライライ」